

松山大学法学部学術講演会

演題：アメリカとどう向き合うか—ヨーロッパの視点から

講師：松本 礼二氏（早稲田大学名誉教授）

講演概要

我が国にとり、アメリカとどのように向き合うのかという問題は、極めて切実な問題である。18世紀にまで遡り、フランスにおけるアメリカ観を通観する研究に取り組み続けてきた松本礼二教授をお迎えし、ヨーロッパの視点からこの問題にアプローチしたい。トランプ政権の誕生や、ヨーロッパにおける移民問題など、米欧関係も不透明さを増している中、我が国を代表する政治学者の一人である松本教授のレクチャーを受け、今後の展望を描く糧としたい。

（参考文献 Reiji Matsumoto, “From Model to Menace: French Intellectuals and American Civilization”, *The Japanese Journal of American Studies*, No. 15 (2004).）

コーディネーター

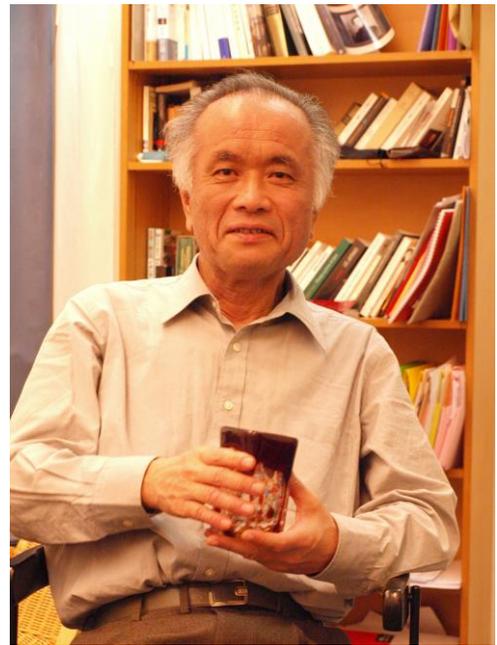
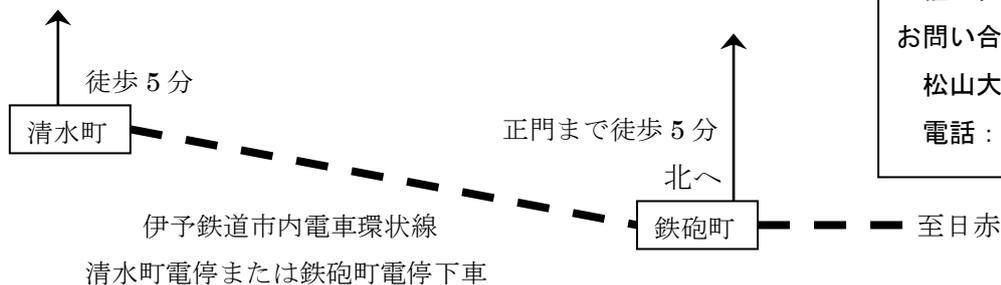
松山大学法学部教授 遠藤 泰弘

日時：2017年 **12月7日(木)**

18:00～19:30

入場無料・参加自由

場所：松山大学 8号館 821番教室



講師：松本 礼二氏の経歴

1946年 東京生まれ

東京大学法学部卒業、同社会科学研究所助手、早稲田大学教育学部講師、同助教授、同教授を経て、現在—早稲田大学名誉教授

著書—『トクヴィルで考える』（みすず書房）、

『トクヴィル研究』（東大出版会）他

訳書—『アメリカのデモクラシー』（岩波文庫）

主催 松山大学法学部

お問い合わせ先

松山大学教務課 法学部担当

電話：089-926-7137（直通）